第二回岩室村青年県外研修に参加して

――秋田県秋田市、男鹿市――

第二回岩室村青年県外研修派遣団員六名は、秋田県各地での研修を終え、去る七月十六日全員元気で帰村いたしました。

「地域における青年の役割」を共通テーマに今後の青年団体活動の望ましいあり方について話し合い、研修してきたもので、今後、本村における青年団活動の中堅リーダーとしてその活躍が期待されます。

……

伊藤　勇（和納三区）

研修で大きな想い出は、秋田市の青年夏祭りへの招待、男鹿市青年会員との交換会、八郎潟干拓地の見学でした。

研修二日目の夜の青年夏祭りは、招待を受けた嬉しさも手伝い地元青年の輪の中で思い切り、踊り、歌い時間のたつのも忘れるほどでした。二千人の青年参加者、県知事、市長の出席、規律ある青年の行動（会場内では、酒はもちろん、たばこを吸っている人もないのです）等どれを取ってみても青年会活動で、ここまでやる秋田の青年に頭が下がりました。

また、二千人の参加者の前で「新潟県岩室村の県外研修の皆さんです」と紹介された感激と嬉しさも忘れられない想い出のひとつです。

男鹿市の青年とはその翌日会い、青年団活動について意見交換をしました。リーダーが実にしっかりしていると思ったのが第一印象です。団員も返答に困るほどバリバリと意見を出すものと覚悟をしていたのですが、謙虚といおうか、推譲の精神というか、一歩下がって私達を引き立ててくれる、そんな感じを与えてくれました。新任の会長で、市長との会談、市議会の傍聴を今年から取り入れ、行政の勉強に取り組む前向きの姿勢がうかがわれました。

しかし、人集めの苦労、女性会員の不足、他のサークルへの参加が多い等、共通の悩みもあるようです。また、私達の県外研修に興味を持ち、こちらも是非やってみたいといわれたのが印象に残りました。翌日は八郎潟干拓地大潟村へと向いました。

新潟県出身の三人の人から案内をしてもらい施設等を見学しましたが一致した感想は「うらやましいなあ……」でした。来年度から一戸当り五ヘクタール増えて一五ヘクタールの耕作面積になり、作業も新潟にいた時よりも楽とのことで、ごく忙しい時期を除き奥さん達は主婦業に専念できるようです。そのような状況だからこそ各種の団体活動は非常に活発だとのことでした。

また、大型ダンプで百台分の砂を水田に客土した、農作業によっては徹夜であった、減反には全然協力してなかった、などの話しを聞き農業で生きぬく意欲と自信を感じ考えさせられるものがありました。入植者が故郷への郷愁を唱った〝風よとどけよふるさとへ〟の歌詞をみやげに大潟村を後にした。

研修を終り、こっちも秋田に負けず、何かやらなくてはいけないという思いと、今後も研修が継続されて多くの仲間が出来てゆくという期待で一杯です。

山岸光雄（北野）

秋田に着くまでの五時間余りの汽車の旅が長く感じられた。車中での秋田への不安、果して秋田県の青年達と立派な話し合いができるだろうかという心の動揺、それも青年の家へ向うバスの窓から見える秋田市内の大規模な公園風景、そしてそこを歩いている若者達を見た時、そこに住み、生活している人々の息吹を感じそんな気持も吹き飛んでしまった。

秋田の青年達の歓迎ぶりは実に驚いてしまった。第二日目の夕方、市体育館で行なわれた「若者の夏祭り」という行事に市青年から招待を受け会場まで案内をしてもらって約二千人近い若者達の中で紹介を受け一層の感激を受けました。今回の研修での大きな課題の一つとして「岩室村の青年団体活動を活発にするには」というものに対してこの大会に参加することによって大きな意義があると思います。そして向うの青年達から学び取るべきものが多くありました。村あるいは地元新潟県としても土曜の夜という時間帯に二千という青年達を一ケ所に集めこの様な大会を催すことなどは考えられません。又、会場で民謡やフォークダンスに参加する時でもこんの抵抗なく輪の中にて行けるという所もこと違う思いがしました。その他向うに行って、ふるさとと運動という言葉がしきりに耳に入る。私達が住み慣れたふるさとが文明という名のもとに自然破壊生活環境の悪化、人間性の喪失等、ふるさとというものがだんだん失なわれ様としている中で、ふるさとの自然と文化を守り、新しい人間としての連帯を築き上げようとする運動を起して行く所に大きな違いがあるのではないでしょうか。機会があったらもう一度秋田の地へ行ってみたいと思います。

槇田士農夫（高畑）

高校を卒業して、もう四年目になります。

現在4Hクラブに在籍して、西蒲地区の青年達と種々な形で交流を深め、沢山の人達とキャンプ・競技などに参加してきましたが、このような研修の参加は始めてであり、この機会に視野を広めようと応募し、幸い団員の一人に選ばれたのです。今回の研修は秋田県ということで最初私は、「同じ日本海側で雪国だからそんなに変らないだろう」と思いました。

しかし、それは容易な考えで、私達は秋田県青年の活動の一つを運よく見学、参加させてもらいビックリ二千人以上もの若もの達が

（次頁へつづく）

在宅看護婦実態調査に協力を

最近、看護婦の不足が全国的な問題となっていますが、その対策の一つとして国では保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦の免許を持ち、家庭にいる方々の実態をは握し、一人でも多くの方に再就職していただくため、次により調査を実施することになりました。在宅有資格者の皆さま全員の御協力をお願いします。

◎調査の対象

保健婦、助産婦、看護婦准看護婦の免許を有し現在勤務していない方全員です。

◎調査方法

(1)一次調査期間（七月十五日～八月三十一日）

有資格者の名前、住所、就職希望場所等。保健所、市町村役場又は病院、職業安定所窓口に受取人払の調査用ハガキがありますから御利用ください。電話でも結構です。

(2)二次調査期間

一次調査の結果、就職希望のある方に対し実施します。

※お問合わせは、保健所又は役場社会福祉衛生担当課へお願いします。

国民年金

保険料の特例納付

これまでに時効にかかった期間も特別に保険料が納められます。

期間50・12・31まで

保険料　未納月一ケ月につき九〇〇円

但し昭48・3までに強制加入期間に限る。

国民年金の保険料は納期限から二年たつと時効にかかってその期間分の保険料は納められなくなります。

未納期間を残している人の中にはその穴埋めをしないと今後、将来に向っていくら保険料を納めたとしても老令年金がうけられない人がいるということです。

自分の老後を考え受給資格期間をみたすようにしましょう。

住民相談　行政相談

――は毎月十日です気軽においでください――

（四ページよりつづく）

心を一つにして、すばらしいものをつくりあげているのです。

私はいままで、このような雰囲気を感じたことがなかったからです。

青年の熱気が私にも感じられ他県の私でさえスーッとその中にとけ込むことができました。すばらしい活動の実際を見て研修に参加できてよかった、この経験を岩室村で生かさなければならないと強く感じてまいりました。

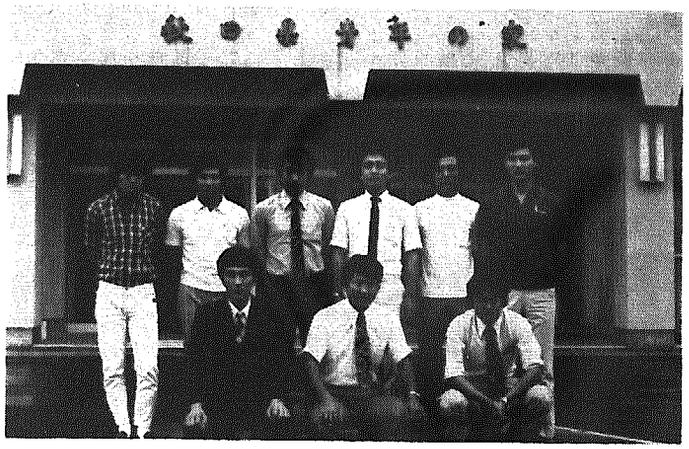
中村盛夫（高畑）

我々派遣団員は、七月十二日から十六日迄の四泊五日間にわたり、秋田市男鹿市の青年達と交流、大潟村の大規模農業と生活様式など見学研修してきました。

十二日、十三日の両日は秋田県青年の家で秋田県の青少年団体活動や、県自慢の放送利用、学習、産業、文化などの実際について講義を受けました。又、十三日夜には思いもかけず秋田市連合青年会主催の「青年の夏祭り」に招待され、県知事をはじめ各市町村長列席の中に多数の青年達に紹介され盛んな歓迎を受け私達の胸は緊張し熱くなりました。秋田の青少団活動は大変活発で、県内各地にある青年会、農業サークル、ボーイスカウト等各種の団体サークルが一本化し秋田県青少年団体連絡協議会を組織しているのです。そして、その事務局が青年会館内に置かれています。この青年会館は県内の青年達が介され盛んな歓迎を受け私達の胸は緊張し熱くなりました。秋田の青少団活動は大変活発で、県内各地にある青年会、農業サークル、ボーイスカウト等各種の団体サークルが一本化し秋田県青少年団体連絡協議会を組織しているのです。そして、その事務局が青年会館内に置かれています。この青年会館は県内の青年達が介金を出し合い造りあげた建物で三年前に完成し管理運営も全て青年の手で行なわれているのです。

秋田県青年連合の推進している大きなテーマ「ふるさとを見つめる運動」はふるさとを見つめ自然と文化を守り人間の連帯を広げる運動です。ふるさと祭りや、交通安全秋田県縦断作戦、旭川を守る運動などの活動を通じ秋田県民が刺激され今では全県民の間にこの「ふるさと運動」が浸透しているのです。そして、県民が青少年団体活動に非常に関心を持ちよく理解し期待していることに我々は強い感銘を受けました。

私達研修生も、これからの岩室村青年の中心となり村民の皆様と共に岩室村の発展の為に頑張ります。最後に関係者並びに村民の皆様の努力と御理解に深く感謝すると共に、毎年この県外派遣が続けられますようお願いします。



写真＝右から（後列）伊藤勇、本間秀基、堀部一男、山岸光雄、中村盛夫、槇田士農夫（前列）秋田市青年会事務局長、秋田市青年会会長、石添社会教育主事

堀部一男（西中）

秋田県の青年団体のエネルギッシュな活動には驚いてしまいました。

たとえば、秋田市連合青年会主催の「若者の夏祭り」の事業です。これには県知事をはじめ近隣の市町村長も参加し二千人の会員とともに「青年の連帯と友情」を主テーマに真剣に話し合い、レクリエーションを楽しんでいるのです。たまたま、私たちもこの行事に招待を受け、一緒にフォークダンス、民謡を楽しむことができました。

青年会、各種サークルによって構成される青年団体連絡協議会が中心となって、すべて自主的に企画し立派に運営しているのです。

からその熱気はすざましいものでした。

岩室村でも各団体、サークルが手を取り合って「地域における青年の役割」を確認しながらまとまり、活動をしなければならないと思います。私もこの研修経験を生かし今後大いにがんばるつもりです。

この意義ある研修に参加させてもらい本当に勉強になりました。村民のみなさんありがとうございました

本間秀基（西中）

秋田県、私に取ってはあまり関心のある県では無かった。また、東北という暗いイメージの農業という認識しかなかった。この秋田県に、私は今回村の青年県外研修生として青年団活動の研修に行って来た。

そして研修後の現在、考えを改め強い関心を持たざる得なくなった。良く整備された市街地、充実した体育施設そして何よりもバイタリティーに富んだ青年活動に注目せずにいられなかった。

一本化された行政の窓口で「ふるさと祭り」を中心に郷土に立脚したふるさと運動を力強く展開していた彼ら、二千人を動員した秋田市青年の夏祭り、大潟村での自作自演のレコーディング等に青年の熱き血潮を感じ、青年本来の姿を見い出したのは私だけでなかったであろう。

現在これら尊き経験を少しでも地域発展に寄与できれば幸であり、この機会を与えて下さった方々に心から御礼申上げます。

国民年金の一部改正

九月より福祉年金が増額されました。

支給時期も一部繰上げ（五～九月分支払われます。）

年令種別等		改正前	改正後
老齢福祉年金		60,000円（月額 5,000円）	90,000円（月額 7,500円）
障害福祉年金	1級	90,000円（月額 7,500円）	135,000円（月額11,300円）
	2級	60,000円（月額 5,000円）	90,000円（月額 7,500円）
母子福祉年金及び準母子福祉年金		78,000円（月額 6,500円）	117,600円（月額 9,800円）
老齢特別給付金		48,000円（月額 4,000円）	66,000円（月額 5,500円）

8月の衛生行事

乳児検診

期　日　8月23日（金）

場　所　岩室村役場第二会議室

受付時間　午後1時～1時30分

対　象　昭和49年4，5月生れの乳児